

## 2007 年度 小委員会活動成果報告

(2008 年 1 月 15 日作成)

小委員会名	現代建築評価小委員会		主 査 名：服部岑生 就任年月：2006 年 04 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会		委員長名：布野修司 主 査 名：
設 置 期 間	2006 年 04 月～ 2008 年 03 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実際の建築事例の調査を行い、建築計画の役割を分析する</li> <li>・ 現代的建築に関するクライテリアについて、建築計画の視点から検討する</li> <li>・ 上記の視点から、課題となっている事例について、公開研究シンポジウム開催</li> </ul>		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有り		
	服部岑生(千葉大学)、宇野求(千葉大)、岡本和彦(東大)、岸本達也(慶応大学)、郷田桃代(電機大学)、鈴木毅(阪大)、鈴木雅之(千葉大学)、西村伸也(新潟大学)、吉岡陽介(千葉大)、広田直行(日大生産)、真境名達哉(室蘭工大)、水落秀木(清水建設)、森永良丙(千葉大学)、山田純(竹中工務店)、横田昌幸(NTT ファシリティーズ)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2007 年度予算	135000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	1 .(書名) 特になし
講習会	1 .(名称) 特になし <span style="float: right;">参加者数 名</span>
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	1 .(名称) 都市再生機構の景観デザインの試み <span style="float: right;">参加者数 25 名 (資料名) 木下庸子のデザイン、都市再生機構デザイン 1 0 0 選</span> 2 .(名称) ひばりヶ丘団地のストック活用の実験 <span style="float: right;">参加者数 15 名 (資料名) なし</span>
大会研究集会	1 .(名称) <span style="float: right;">参加者数 名 (資料名)</span>
対外的意見表明・パブリックコメント等	(2006年からの2カ年) 1 .住宅・住宅地計画の都市と法制度から押しつけられてくる問題を公開討論で明らかにしたが、現代の大きな問題として現在も意識している。
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	(2006年からの2カ年) 建築計画が深く関わっている建築の事例を見学・調査し、建築家と議論することで、新しい建築計画の役割について整理できた
委員会活動の問題点・課題	1 .出席者の多くが、多忙で活動を広げられなかった。 2 .東京圏だけの問題になってしまった。交通費などの制約。 3 .若い委員を公募で業界などから選んだが、参加が本業とバッティングした。

\* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通

項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。